

⑬

# モンタナ幼稚園

## 1955(S30)～

モンタナ幼稚園の前身は、1944(S19)年に設置された「腰越戦時保育園」である。聖母訪問会(当時は日本訪問童貞会)が横浜若葉町(現:横浜市中区)に開いた「聖ミカエル天使園」園児たちの疎開を受け入れるとともに、地元の子どもたちを集めて保育を行なった。

戦後も保育を継続し、1946年には「聖母園」と改称した。近隣に幼稚園がなかった時代、入園希望者は多く、モンタナ修道院が近隣の地主から購入した土地をあて、シスターたちが田畑を整地して、木造の園舎

を造った。55年、現在地(津550)に園舎が完成した頃から、「モンタナ幼稚園」という名前になった。



「聖母園」第1回終了記念写真(1947年3月18日)

さらに 1957  
(S32)年には、「学校  
法人モンタナ学園」設  
立、宗教法人から移  
行した。モンタナ幼稚  
園ではこの時を設立  
記念日としている。



1955年に落成した園舎

設立当初、園の職員は聖母訪問会のシスターまたは  
修道生活志願者に限られていた。入会してから幼稚園  
教諭や看護師の資格をとるシスターも多かった。しだ  
いに一般の職員も増えていったが、2019年までは、  
幼児教育に長年関わり、知識を持つシスターが園長を  
務めていた。

モンタナ幼稚園は、モンテッソーリ教育を早くから  
導入した園としても知られる。子どもの「敏感期」に適  
切な環境を用意し自己教育力を育むというモンテッソ  
ーリ教育を始めたのは1976年、その頃にはシスター  
たちが本場イタリアに行って勉強したという。本格的



に導入するのは大変なことで、教具をそろえなければならず、また2年間ほど勉強して国際免状を取る必要もあった。園で

は免状を取るためのお金を出して、先生たちを学校に通わせていた。

近所の子どもたちがほとんどだったころは、シスターたちが子どもを連れて腰越や西鎌倉へと送っていたが、しだいに、モンテッソーリ教育を望んで子どもを入園させる親も増えたこともあって、遠くから通う子どもも多くなってきた。そこで1988年には、修道院の畑をバス駐車場にし、通園バスの運行が始まった。

※モンタナ修道院のシスターにお話をお聞きし、モンタナ幼稚園創立60周年記念のDVDを提供していただきました。感謝いたします。